

国旗に敬意を

複数の独立国家の国旗は、(上下ではなく)それぞれ同じ位置に対等に掲揚・表示するのが国際社会の常識であり、国連をはじめとする外交現場の民主主義的運営の知恵です。

NHK に、この「世界の常識」をわきまえる国際人は誰もいないのでしょうか。

「表現・編集の自由」のもと、NHK が服従・属国・降参を意味するがごとく他国の国旗の下に日の丸を表示する必然性は全くありません。国民の税金と視聴者からの受信料で成り立っている NHK は、一体どこの国の公共放送でしょうか。公共放送が、公共マナーを尊重しなくて良いということにはなりません。この点を、国会で取り上げました。

通常、全国中継されることのない委員会審議ですが、ロコミによる広がりや、インターネット動画サイト「YouTube」では、有村の 20 分間の国会質問中継に、4 日間で 14 万件を超えるアクセスを頂いております。

4月3日 NHK「ニュースウォッチ9」の画像



NHK 中国国旗の下に日の丸 外務副大臣「服従…外交儀礼上、不適切」

産経新聞

NHKが3日に放送した番組「ニュースウォッチ9」の中で、日本の国旗を中国の国旗の真下に表示していたことが13日、分かった。岸信夫外務副大臣は同日の参院内閣委員会で、独立国の国旗を上下に位置させることについて「下の国旗は下位、服従、敵への降参などを意味し、外交儀礼上、適切ではなく、あってはならない」と答えた。

自民党の有村治子参院議員の質問に答えた。映像は航空自衛隊の戦闘機の緊急発進(スクランブル)急増に関する特集の中で使用された。有村氏は「NHKはこの国の公共放送か」と述べて批判した。

NHK広報部は産経新聞の取材に対し「上空を飛行する中国機に対し、スクランブルをかける自衛隊機のイメージを分かりやすく示すため、両国の国旗と機体の画像を使って放送した。国の上下関係を示す意図はなかった」と説明した。

平成 29 年 4 月 14 日 産経新聞 朝刊



平成 29 年 4 月 13 日 参議院内閣委員会

参議院議員
比例代表(全国区)

ありむら治子 www.arimura.tv